

## Comparison of the Effect of Bromfenac versus Betamethasone Ophthalmic Solutions in Patients with Diabetic Macular Edema

メタデータ	言語: en 出版者: 公開日: 2023-05-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 飛松, 唯 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.20780/00033460">https://doi.org/10.20780/00033460</a>

## 主論文の要旨

Comparison of the Effect of Bromfenac versus Betamethasone Ophthalmic Solutions in Patients with Diabetic Macular Edema (糖尿病黄斑浮腫に対するブロムフェナク点眼液とベタメタゾン点眼液の有効性の比較)

東京女子医科大学内科学講座 糖尿病・代謝内科学分野

(指導：馬場園哲也教授・基幹分野長)  
飛松 唯

Current Eye Research 第48巻 第1号 80頁～85  
(2022年11月4日オンライン公開) に掲載

本研究は、糖尿病黄斑浮腫（DME）に対する0.1%ブロムフェナク点眼液（BF）と0.1%ベタメタゾン点眼液（BM）の有用性を比較することを目的とした前向き特定臨床研究である。DMEと診断された19例19眼を対象として、BF群とBM群に無作為に割付け、点眼投与4、8、12週後に中心窩網膜厚（CST）、視力、及び眼圧を測定した。CSTについて、両群いずれの時点においても投与前に比べて有意差は認めなかった。BF群では、HbA1c値が8.0%未満であった7例において、投与前に比べ投与8週及び12週でCSTの有意な減少が確認された。視力について、両群いずれの時点においても投与前に比べて有意な変化はなかった。眼圧値はBM群の投与8及び12週で投与前に比べて有意な上昇を認めた。BF群では投与12週にわたり有意な眼圧変化はなかった。以上の結果から、BFは12週投与でも眼圧への影響はなく、血糖コントロール良好例におけるDMEのCSTを改善させる可能性が示唆された。